

# FoamPro

## 自動泡混合システム

フォームプロ・モデル：FP-1600/24  
Type “0”

## 取り扱い説明書

### 項 目

1. 概要及び特長
2. システム構成図（TYPE “0”）
3. システム仕様及びシステム機器
4. 操作方法
5. 保守、点検
6. 注意事項

● 本システムを運用する前には必ず取り扱い説明書をお読み下さい

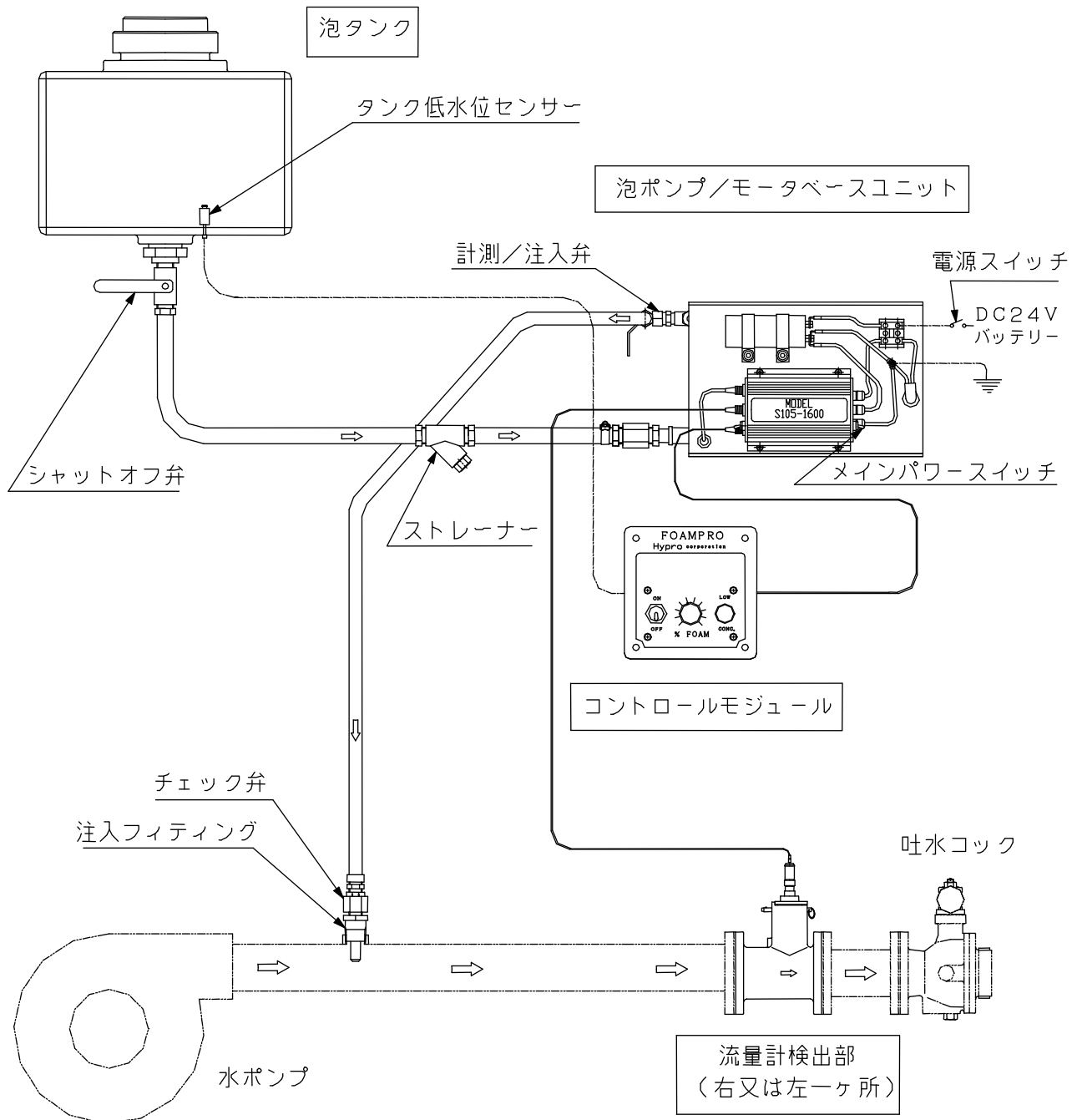
## 1. 概要及び特長

本装置は、電気モーター駆動で流量計測を元にした混合システムであり、流量を計測し、あらかじめセットされた混合比率の消火剤を注入し水と混合します。

簡単な操作で、他のシステムよりも容易に正確に泡を作り出し、流量や圧力の変化にも自動的に対応します。又、0.1%毎の間隔で消火剤混合比率を変えられます。

## 2. システム構成図 (TYPE "O")

システム構成は以下ようになります。



### 3. システム仕様及びシステム機器

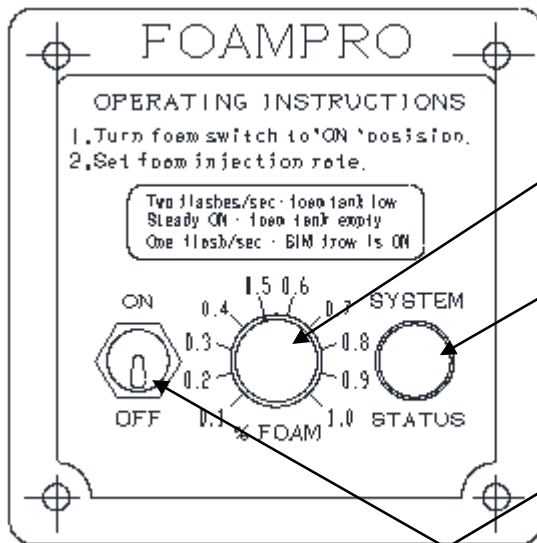
#### 1) システム容量

泡混合比	最大流量 (L/min.)
0.1%	6,430
0.3%	3,215
0.5%	1,280
1.0%	640

#### 2) システム機器仕様

1. 電源：DC 24V
2. 泡ポンプ：種類：プランジャーポンプ  
吐出量：6.4L/min. at 1.38MPa
3. モーター：出力：0.25kW
4. 最高使用圧：2.8MPa
5. 最高使用温度：71℃
6. 最大電流値：15.2A

#### 3) コントロールモジュール（制御用操作盤）



混合比率調整スイッチ  
(0.1%ずつ調整できます)

表示灯(タンク低水位)  
(泡タンクの濃縮液量が少ないと点滅し  
2分後には点灯します。)

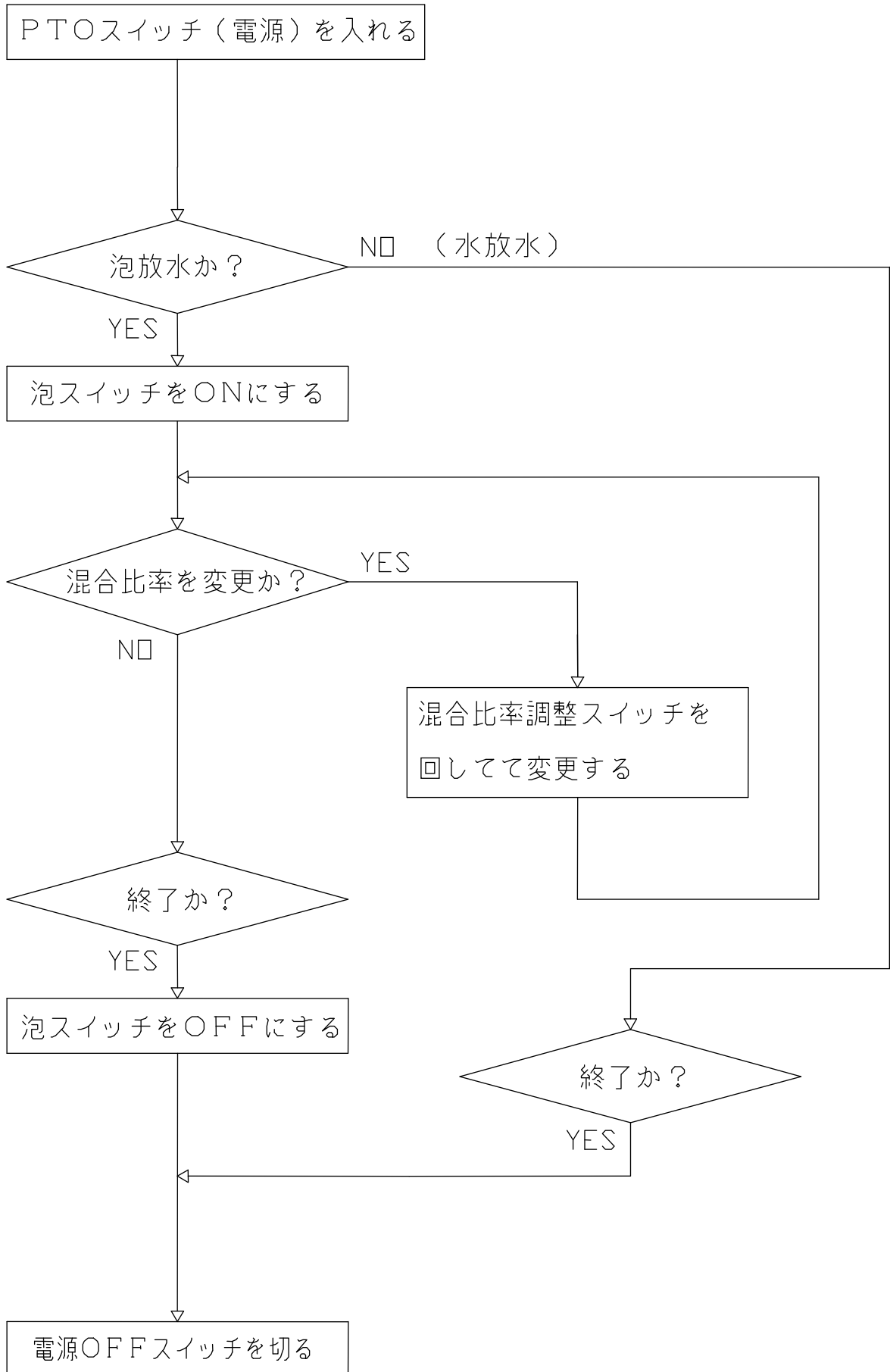
泡(吐出)スイッチ  
(上に倒すと ON も、下に倒すと  
OFF になります。)

#### 4. 操作方法

自動泡混合システムは電源スイッチを入れることで起動状態になります。

- 1) 最初に運転席にあるPTOスイッチ（電源スイッチ）を入れる。（艀装により異なります。）
- 2) 次に“泡スイッチ”をONにします。
- 3) 泡吐出可能量に放水量を設定して下さい。  
水の流れを自動的に計測し指定された混合比率で混合を行います。  
混合比0.5%で1,280L/min. {最大流量は3.1) システム容量表参照}
- 4) 消火剤混合比率%の変更の場合は混合比率調整スイッチでセットする。  
混合比率%に示された濃度で消火剤が注入されます。変更は放水時中や、その前後何れにおいても可能です。
- 5) 泡混合の不要時は“泡スイッチ”をOFFにすると消火剤注入が停止します。
- 6) 運転席にあるPTOスイッチ（電源スイッチ）を切る。（艀装により異なります。）

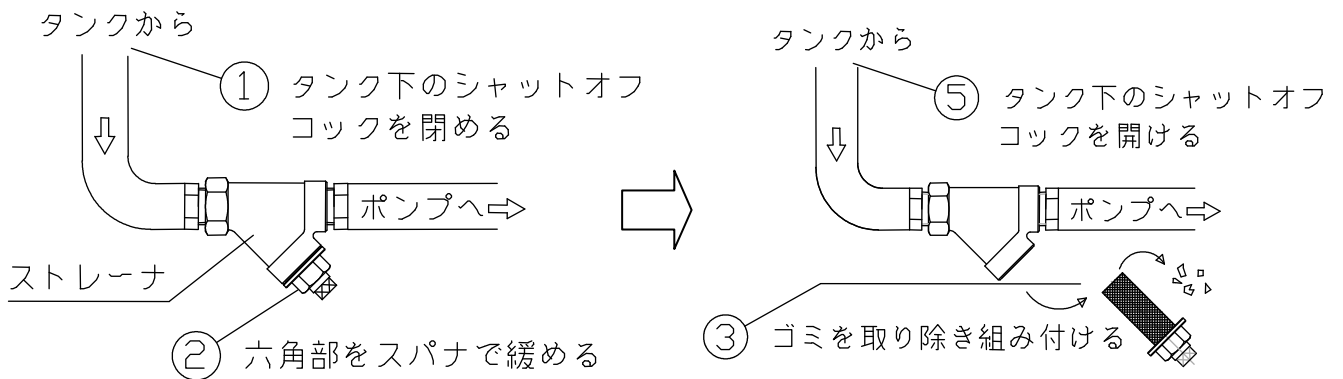
# 操作手順フローチャート



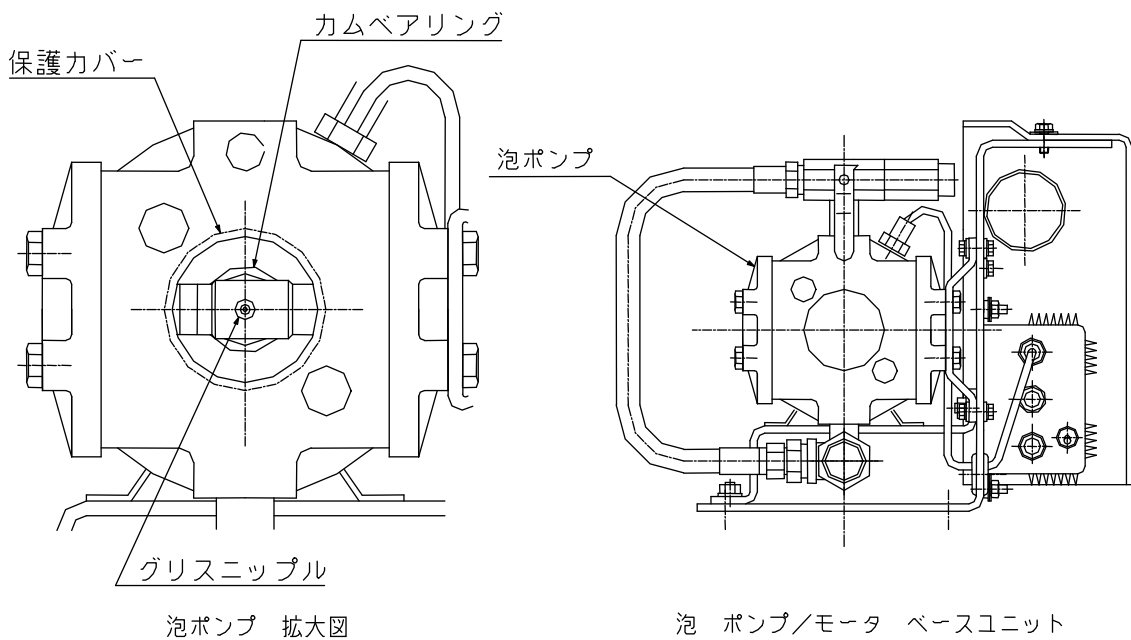
5. 保守・点検

<p>使用後点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ ホースの弱りや擦り切れ等の損傷がないかチェックして下さい。</li> <li>◎ 機器の接続が確実であることを確かめて下さい。</li> <li>◎ 消火剤の残量を確認して下さい。(泡タンク容量は30リットルです。)</li> </ul>
<p>月度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 配線、ホース、流量計の接続部等に腐食や漏れや損傷の異常がないかチェックして下さい。</li> <li>◎ 泡ポンプのカムベアリングにグリスアップして下さい。(下図参照) 泡ポンプの保護カバーを外してグリスニップルを確認して下さい。 グリスポンプでグリスアップしてください。(高圧のグリスガンの使用禁止) グリスは高品質な物を使用し、過度にグリスアップしないで下さい。 グリスアップ後は、必ず保護カバーを元に戻して下さい。</li> <li>◎ 消火剤ストレーナを洗浄して下さい。 ご使用になる消火剤の種類によりまして天候や気温の変化でストレーナが目詰まりしやすくなる場合があります。(低温時等) ※月次点検に限らず状況により随時点検されることをお勧めします。</li> </ul>

ストレーナ分解手順 (2/6 システム構成図参照)



泡ポンプオイルレベル確認箇所 (2/6 システム構成図参照)



## 6. 注意事項

- 1) 異なった銘柄の消火剤を絶対に混ぜ合わせないで下さい。
- 2) 消火剤混合率は0.1%～1.0%の範囲でお使い下さい。  
システム容量 参照3. -1)
- 3) 修理時は、電源スイッチ（運転席）、及びメインパワースイッチ（泡ポンプ／モーターベースユニット）を切って下さい。
- 4) 修理点検時には、配管内の圧力、残水及び消火剤を抜いて下さい。
- 5) 電気アーク溶接をする場合には、3) を実施するとともに機器保護のためコントロールモジュールあるいは他のフォームプロ機器から、グラウンドストラップやコントロールケーブルを外して下さい。
- 6) 最高使用圧力2.8MPa以上では使用しないで下さい。
- 7) 温度71℃以上に於いては使用しないで下さい。
- 8) 低水位センサーが働いた（“LoConc.”の表示灯が点滅した）ら、“泡スイッチ”をOFFにして消火剤を補充して下さい。補充する際は専用のロート（じょうご）をご使用下さい。
- 9) システム等のトラブルにより混合液が出ない時は“泡スイッチ”をOFFにし、水放水にて消火作業を行ってください。

備考
----

- ・コントロールモジュールの“泡スイッチ”をOFFにし、消火剤の注入を停止させても少しの間消火剤混合液が出る場合があります。  
(これは、配管の中に消火剤混合液が残水している為であり故障ではございません。)
- ・消火剤によるポンプや配管の汚染を防ぐ為に、次の事を実施して下さい。  
消火終了時、ポンプを停止する前にコントロールモジュールの“泡スイッチ”をOFFにして、水放水を行い配管内に残水している消火剤混合液を排出して下さい。